

News Release

クリエイターの新たなものづくりの可能性を考える BtoCビジネスを手がけるクリエイターによる トークセッション&交流会を開催

～顔の見える一個作りの商品へのニーズの高まりを受け、経験者のノウハウや課題を共有～

クリエイター(*1)支援施設「クリエイティブネットワークセンター大阪 メビック扇町」(所在地:大阪市北区 所長:堂野 智史)は、クリエイター自身が商品のプロデュースから販売までを手がけるBtoCビジネスをテーマにしたフォーラム「クリエイターとものづくり。」を、10月28日、関テレ扇町スクエア 1階アトリウムにて開催。実際に現場でものづくりに取り組んでいるクリエイターが事例を紹介し、ものづくりに対する可能性と課題を共有します。

(*1)クリエイターとは、プロのデザイナー、写真家、イラストレーター、映像作家、コピーライター、編集者などを指します。

■自己プロデュースの可能性と課題

昨今は、メーカーが大量生産したものではなく、作り手の顔の見える商品を望む消費者が増加するなど、購買形態の多様化が進んでいます。また、インターネットの普及など販路の選択肢が増えたことで、受託業務が中心であったクリエイターの新たな展開として、自ら商品をプロデュースし販売するといったBtoCビジネスの可能性がますます高まっています。しかし、実際にビジネスを展開するためには、商品を制作するだけでなく、コスト計算や販路などプロデュースやマネジメントスキルが必要となるため、実践者による経験やノウハウの共有が求められています。

当日は、クリエイターに求められる姿勢についての問題提起や、福岡県で先進的な取り組みをしている「D12」の事例紹介の後、日本の各地場産業との協業企画を積極的に進める金谷勉氏、日本のハンドメイドグッズの展示販売をフランス・パリ市で成功させてきた玉井恵里子氏など、クリエイター6名が経験を伝えるトークセッションを行います。セッションでは、現場での活動状況や課題などについての報告に加え、課題解決の方向性についての意見交換を行い、参加者とともに、クリエイターとものづくりに大切なことは何かを見つけていきます。

また、実践の場として、11月29日・30日に、アジア太平洋トレードセンター(主催:大阪デザイン振興プラザ)にて、80組のクリエイターが実際に企画、制作した商品を対面で販売するデザインマルシェの開催を予定しています。



クリエイティブビジネスフォーラム【クリエイターとものづくり。と、】概要

- 日 時 2014年10月28日(火) 19:00～23:00(開場・受付開始 18:30)
- 会 場 関テレ扇町スクエア1F アトリウム、mouton otto(大阪市北区扇町2-1-7)
- 定 員 150人(先着順・定員に達し次第締め切ります)
- 費 用 フォーラム:無料 交流会:3,000円
- 主 催 大阪市
クリエイティブネットワークセンター大阪 メビック扇町
一般財団法人大阪デザインセンター
- 共 催 デザインマルシェ委員会

●タイムスケジュール

19:00～19:20 問題提起 清水 粧行氏 | 青空(株)

クリエイターのものづくりに対する向き合い方や考え方、これからクリエイターがものづくりに取り組む際に大切にしなければならないことについて。

19:20～19:40 事例紹介 かねこしんぞう氏 | 一般社団法人福岡デザインアクション 実行委員長

クリエイターが作った商品を直販する店舗の先進事例として、福岡市博多区下川端町にある「福岡デザインステージD12」の紹介。

19:40～21:10 トークセッション

実際に商品を企画・開発・製造しているクリエイターや、販路開拓の成功実績があるクリエイターから、現場での活動状況や課題等についての報告や、課題解決の方向性について意見交換を行います。

スピーカー:

かねこしんぞう氏 | 一般社団法人福岡デザインアクション

金谷 勉氏 | (有)セメントプロデュースデザイン 代表取締役

玉井 恵里子氏 | (株)タピエ 代表取締役 / デザイナー

ツタイミカ氏

南 大成氏 | HIROMINAMI.DESIGN 代表

山極 博史氏 | うたたね 代表

ファシリテーター:浅野由裕氏 | (株)ファイコム

21:30～23:00 交流会(参加費:3,000円)

●お問合せ:クリエイティブネットワークセンター大阪 メビック扇町

TEL:06-6316-8780(10:00～21:30 土・日・祝日は休館) E-mail:info@mebic.com

本件に関するメディアからのお問い合わせ先

クリエイティブネットワークセンター大阪 メビック扇町

広報担当:松井

〒530-0025 大阪市北区扇町 2-1-7 関テレ扇町スクエア 3F

TEL:06-6316-8780 (平日 10:00～21:30)

FAX:06-6316-8781

e-mail:info@mebic.com

ホームページ: <http://www.mebic.com/>

スピーカー・ファシリテータープロフィール

清水 衿行氏 | 青空(株)

大阪生まれ。「すべてはデザイン」という考え方で横断的にデザインプロジェクトを実践する。APEC奈良観光大臣会合レセプションインタラクティブデザイン、グランフロント大阪ナレッジキャピタルVIデザイン、「my hometown 私のマチオモイ帖」「デザインマルシェ」ディレクター。CSデザイン賞大賞、NYADC特別賞、グッドデザイン賞、キッズデザイン賞受賞。公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会(JAGDA)運営委員、大阪芸術大学デザイン学科非常勤講師。



かねこ しんぞう氏 | デザインディレクター

福岡生まれ。デザインをもっと社会生活の身近な存在にしたいと考え、社会的な活動として、領域を超えたデザイン分野として、グラフィックデザイン、ブランド開発、商品開発計画、環境デザイン、建築プロデュース、そしてプロダクトデザインなど、広い分野のデザインやディレクションを手がけている。キーワードは「デザインは、課題を解決するソリューション」で本価値として立脚させること。株式会社インデックスプラス 代表取締役 / 学校法人双葉学園福岡デザイン専門学校理事長。



金谷 勉氏 | プロデューサー / (有)セメントプロデュースデザイン 代表取締役
1971年生まれ。1999年10月「CEMENT PRODUCE DESIGN」を設立。自社での販売展開もデザインショップ、インテリアショップ、ミュージアムショップ等500店舗を超える流通先を開拓し、自社プロダクトを企画、生産、流通まで展開。日本の各地場産業との協業企画も積極的に進めており、売場を見据えてモノ作りをしたいデザイナーや零細・中小の製造メーカーとの協業を提唱している。2013年鯖江との協業製品Sabae mimikaki (鯖江みみかき)がGOOD DESIGN AWARD 2013を受賞。



玉井 恵里子氏 | (株)タピエ 代表取締役 / デザイナー

タピエは、大阪・東京を拠点に、インテリア・グラフィック・プロダクトなど、文化・アートのジャンルを越えライフスタイルデザインを考えるクリエイティブな会社。1992年アルフレックスジャパンより独立し東京代々木に「タピエ」設立。1999年大阪・南船場にオープンしたギャラリーショップ「タピエ スタイル」は、現在のハンドメイドブームの草分け的存在として広く知られている。2008年「カワイイ大阪」を全国発信するためのガイドブック「Zakkaな大阪」(西日本出版社)を監修。2012年・2014年「Kawaii et cetera」をパリ市のアトリエ・ド・パリで開催。



スピーカー・ファシリテータープロフィール

ツタイミカ氏

京都出身。2011年京都工芸繊維大学プロダクトデザイン学科卒業、大学院在学中。武庫川女子大学非常勤講師。モノの楽しい一面や出来事を引き出すデザインを心がけて制作を行う。「ムシホテル」Tokyo Midtown Award 2010柴田文江賞、「マンガ皿」等。「マンガ皿」は現在ミュージアムショップ等で販売中。



南大成氏 | HIROMINAMI.DESIGN 代表

1982年、鹿児島県生まれ。2006年、英国シェフィールドハラム大学、BAプロダクトデザイン学部を卒業。株式会社ハーズ実験デザイン研究所/METAPHYS、株式会社CONCENT勤務を経て、2011年に独立。アイデア先行型デザインが市場に溢れる中、自身が一生活者として実生活で使えるデザイン「生活者視点のデザイン」を理想として掲げ活動中。また、アートディレクターのゴトウシュウ氏と自社ブランドARLEQUIN(アルルクアン)を設立。デザインプロデュース集団「Iroyori」メンバー。



山極博史氏 | うたたね 代表 / 家具デザイナー

宝塚造形芸術大学 プロダクトデザインコース卒業。カリモク家具株式会社にて商品開発に携わる。その後長野県松本技術専門校にて家具製作技術を学び、工房でのアシスタント等を経て1999年、木製品ブランド「うたたね」を立ち上げる。手で考えるデザインをモットーに家具を中心としたデザイン提案、プロデュース等を行う。



浅野由裕氏 | (株)ファイコム 代表取締役

大阪生まれ。旅行代理店の営業の後、工業経済系広告代理店の時にMacの専門誌広告業務をメインに奔走する。DTP・マルチメディア関係のお客様や友人と創成期のパソコン環境に様々な業務が移行する中、Webに興味を持ち、モバイルやWebのマーケティングを手がけている。“メディアは自分でつくるもの”と考え、フリーペーパーなどの編集を手がけ、「b-platz press」ケータイサイト「江崎グリコ、ポッキー友の会」「SUPER:」「MOOV, press」に携わる。うめきた健康マガジン「gd」、水都大阪の情報紙「mizbee(みずべ)」が最新作。

